

★令和3年度明るい選挙ポスターコンクール 青梅市審査賞★

小学生の部



青梅市立第三小学校
4年 登坂 葉奈さん



青梅市立新町小学校
6年 庄司 琳一さん



青梅市立新町小学校
6年 佐々木 優奈さん



青梅市立新町小学校
6年 後藤 心優菜さん

令和3年度明るい選挙ポスターコンクールは、市内の小中学生から、小学生の部120点、中学生の部72点、合計192点の応募があり、その中から6名の作品が青梅市審査賞に選ばれました。また、「青梅市立新町小学校」と「青梅市立今井小学校」が、東京都から感謝状贈呈校に選ばれました。

中学生の部



青梅市立泉中学校
3年 黒木 紗乃さん

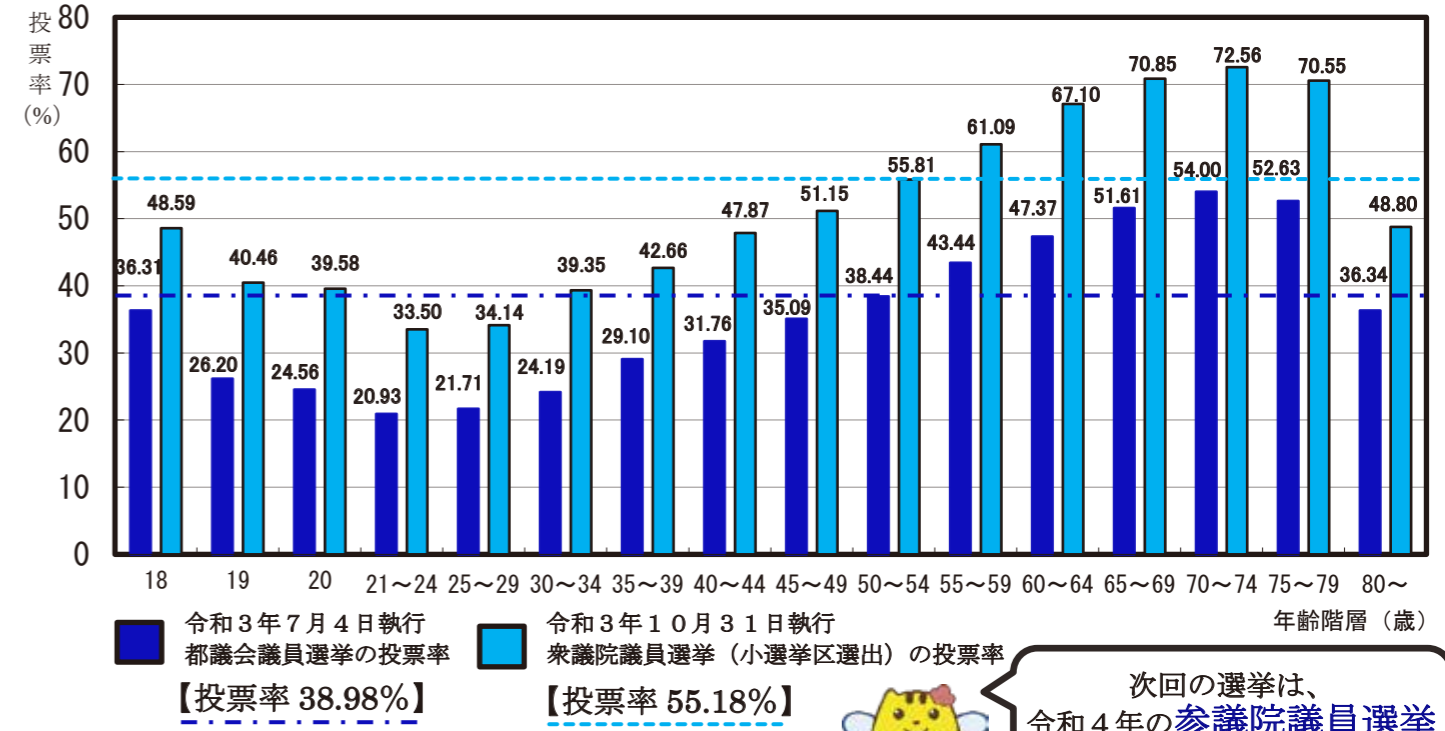


青梅市立西中学校
2年 福島 秀隆さん

来年度も
たくさんの応募を
お待ちしております！



選挙結果



次回の選挙は、令和4年の参議院議員選挙の予定です！



投票立会人

投票立会人という言葉をご存知でしょうか。選挙が公正に行われるように立ち会うことが役目であり、投票所で投票箱の近くにいる方々のことです。私は初めて立会人を経験しましたが、今までどういったことをしているのか知りませんでした。投票立会人の経験を通して、役割の重要さと必要性を実感するとともに、投票に来る若い世代が少ないなど感じました。しかし、中には親に投票のやり方を教わりながら投票する高校生もいて感心させられ、貴重な経験となりました。

伊藤 貴史

立会人を経験して

立会人のお話をいただいた時、少々迷いましたが投票の最初から最後まで携わるといった経験はなかなか無いですし、いい経験になると思います。受けることにしました。立会人の席から見ていると高齢の方、まだ投票に不慣れな若者、身体の不自由な方々が投票所に足を運んでくださり心の中で「ありがとうございます」という気持ちになりました。そして、投票を終えた方が「ご苦勞様です。」とか「お疲れ様です。」と笑顔で会釈してくれた事が嬉しく、心温まりました。

小林 緑

しろばら編集委員

青梅地区	並木 明
長淵地区	中村 佐内
大門地区	牧 英友
梅郷地区	太田 順一
沢井地区	堀 美江
小曾木地区	川村 文男
成木地区	小山 結花里
◎東青梅地区	立川 勝己
新町地区	菊地 拓也
河辺地区	神 喜美子
藤橋・今井地区	町田 秀夫

◎は編集委員長

編集後記
成人年齢が18歳からと変更になります。平成27年の公職選挙法改正に合わせた民法改正によるもので、本年4月1日に18、19歳の方々は新成人となるわけです。この改定は明治時代からおよそ140年ぶりです。これにより先の方々は選挙権を持つだけではなく、一部制限もあるようですが、大人の看板を背負うわけです。18歳から20歳までの狭間の期間が急に無くなってしまう、義務が多さにとまどうこともあるでしょう。それでも新成人には、義務も権利もしっかりと行使してもらい、より暮らしやすい世の中を継いでいってほしいと思います。

クイズ形式で
わかりやすかった。

選挙に
行こうと
思った。

選挙に興味をもてた。



選挙の仕組みだけでなく、
選挙に赴く意味もよくわかった。

このような機会は、
普段向き合うことの少ない
政治や選挙を身近に感じられるので、
定期的に設けられた方が良く感じた。

出前講座受講後の 感想!

選挙は自分の
人生に関わる
大切なものだ
ということが
わかった。

1人1票はあんまり意味がないものだ
と
思っていたけれど、票が少なすぎると
コントロールされてしまう
という危険性から選挙に行く
ことの大切さを知れた。

日頃から
ニュースを見て
政治に対する
関心を持つようと思った。



前回の選挙は投票する意味が
分からず行っていたが、
次回からは将来の
自分のために
投票しようと思った。



たった1票だけど、
適当ではなく自分の
考えと責任をもって
投票する必要が
あると思った。



New! 出前講座 「コロナ禍における選挙のはなしをしよう！」

令和3年12月14日(火)に都立青梅総合高等学校の3年生(203人)を対象に
現行の選挙制度についてのクイズを交えて講義を行い、選挙制度を題材とした模擬投票を実施しました。

選挙の歴史をみてみよう



選挙制度の歴史的な流れを踏まえ、意識的に現在をとらえたうえで、いまある制度・仕組みを学んで行動して、より自由になれるよう考え、実践していくことの大切さについてみんなで学びました。

模擬投票をしました!

まだ17歳で
初めて投票をしたので、
楽しかったです。



実際に
投票をしてみた
実感がわきました。



選挙に行ったことが
なかったので、
今後の参考になりました。

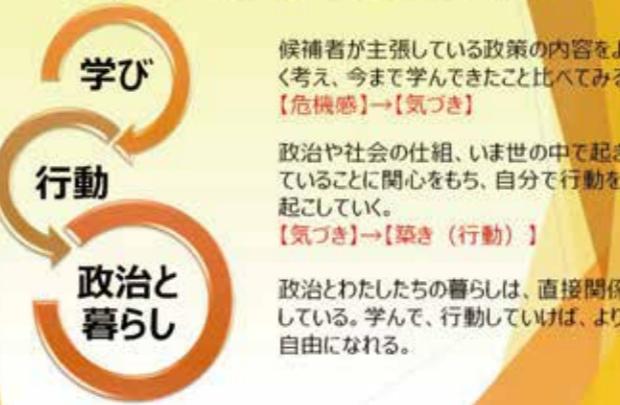


学習指導要領の改訂により、次年度から始まる「総合的な探求の時間」を見据えて、「いままでの選挙の在り方・これからの自分の生き方」を、講義を通じて学び、新たな気づきを得ることで、主権者として主体的に行動するきっかけとなりました!

情報を集める方法

選挙ポスター	選挙公報	国政選挙・知事選挙の場合 政見放送
街頭演説・ 街宣カー	友達や身近な ひとに聞く	候補者や政党の ビラ・はがき等
候補者・政党の HPや SNS等	テレビ・新聞など のマスメディア による報道	まとめサイトなど ネット 上の情報

つながっていることを忘れない



昨年の選挙および選挙雑感



選挙管理委員会
委員長 川鍋 信夫

昨年執行された二度の選挙(東京都議会議員選挙・衆議院議員選挙および最高裁判所裁判官国民審査)は、開票所を市庁舎に移して行われ、さらに東京都議会議員選挙では新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の中、また、衆議院議員選挙および最高裁判所裁判官国民審査では準備期間が短かったこと等の厳しい条件の下、関係者皆様の御努力により、無事に終了することができました。

さて、最近SDGsという文字をよく目にします。世界各国の人々が共通の目標に向かうことは素晴らしいことですが、投票意識にも通ずると考えます。「誰かがやってくれるだろう」ではなく、自らが率先して行動を起こす。こうした意識が浸透することにより、投票率は自ずと向上するのではないのでしょうか。

建物考最終回・国会議事堂



明るい選挙推進協議会
会長 坂口 芳文

今年度は昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響で、本来行わべき選挙啓発活動ができませんでした。今年度は東京都議会議員選挙と衆議院議員選挙および最高裁判所裁判官国民審査が行われました。そこで衆議院議員の方が政務する国会議事堂について考察してみたいと思います。最初の仮議事堂が完成したのは明治二十三年ですがその翌年には火災で焼失。次の二十四年に建設された議事堂も大正十四年に焼失。次に建設された議事堂は現在の議事堂が完成するまで使用されました。では現在の議事堂はどのような経緯で建設されたのでしょうか?大正七年に大蔵省に臨時議院建設局が設置され、議事堂意匠設計案を公募することになりました。

その中で一等に当選したのは渡邊福三氏でした。しかし、現在の議事堂はその図案に似ていません。何故かは今もって不明です。



国会議事堂